

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101920
法人名	医療法人 聖心会
事業所名	認知症対応型共同生活介護 まごころ照国
所在地	鹿児島県鹿児島市照国町7番17番 (電話) 099-813-7260
自己評価作成日	令和元年11月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の状態であっても、家庭的な雰囲気の中で共同生活を通して、個々の意思やライフスタイルを尊重しながら自立支援に向けた介護を心掛けております。場所は照国神社境内の近くにあり周囲は城山を背景に、住宅街に囲まれ賑やかな場所となっております。天気の良い日には屋上から鹿児島市街地や桜島を眺望でき、地域に根差した明るく開放的な施設です。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、サービス付き高齢者住宅・住宅型有料老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護施設を有する複合型介護施設内に開設している。周囲には小学校や幼稚園、コンビニの他、博物館、美術館などの文化施設もある。
- ・母体医療機関との医療連携体制が整っており、施設内看護職員との連携も図られ、緊急時の対応などに適切な医療が受けられるよう支援している。
- ・地域行事への参加や運営推進会議にも町内会の協力を得ている。事業所の地域交流センターを多目的ホールとして地域に開放し、自由に利用できるように利用予定表を作成している。幼稚園や小学校との交流、ボランティアの受け入れなどを行って、地域との交流を積極的に進めている。
- ・常に災害情報を得ることや避難経路、避難場所を検討して避難訓練に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念をもとに実践している。理念に基づいたケアになるように職員間での意見交換やケアの振り返りに取り組んでいる。	法人理念をもとに、事業所独自の理念を入口に掲げている。ミーティングや毎月の職員会議で復唱し、振り返って確認している。職員は理念を共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の幼稚園や小学校の生徒達が訪問され、ご利用者様と一緒に関われる機会を実施している。	自治会に加入し六月灯などの地域行事には積極的に参加している。幼稚園児・小学生との交流やボランティアの受け入れなど、日常的に交流している。事業所の地域交流センターを多目的ホールとして地域に開放している。地域の方が自由に活用できるように利用予定表を作成している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事や施設行事の中で地域との関りを持ち、認知症の理解や接し方などを知っていただき、地域の方が相談できるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回に運営推進会議を開催している。利用状況や活動などを報告し、地域の方のご意見を反映している。	会議は定期的に行われ、事業所の状況や事業実施報告・ヒヤリハット・事故報告・外部評価の結果報告などを行い、委員からも多くの助言や提案が出され事業所への理解を深め、情報発信の場ともなっている。土砂災害危険に対する助言を避難訓練に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>年に6回の運営推進会議には地域包括の職員も参加されるなど協力をいただいている。入退居者等を報告して指示などをいただいている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に向き連携を深めている。介護相談員の受け入れも行っている。市主催の研修会にも積極的に参加し、地域包括支援センターとは運営推進会議を通して協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設け、委員会を中心に身体拘束をしないケアに向けた取り組みを実施している。また研修会を通して、全職員への理解や言葉の掛け方などにも日々気を付けている。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って研修会を3ヶ月毎に実施し、参加した職員が事業所で伝達している。事業所でも毎月のミーティングで身体拘束についての勉強会を行っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についての研修を設け、全職員が理解ができるよう努めている。また職員がストレスをため込まない様に適時コミュニケーションを取り、適切なケアができるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護と成年後見制度についての研修を実施予定である。内外部の研修等を通して学ぶ機会を多く持つようにしていく。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用開始前にご自宅に訪問し、利用契約書や重要事項説明書の十分な説明を行っている。利用開始にあたり不安や疑問等お聞きしご理解をいただいている。ご本人にも利用前に来て頂き、説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や施設行事に参加して頂いた際に、ご意見を伺うこともある。また、意見箱を設置して外部の方からの意見を頂きやすい環境を整備している。</p>	<p>利用者からは、日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や行事に合わせた家族会・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。家族会では、利用者の動画や写真による情報も提供し、家族の協力で本の購入や乳酸菌飲料などの要望に対応し、日々の楽しみに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>いつでも意見を言える雰囲気や関係性に努め、提案などについては一緒に考えていくように努めている。会議等で事前に意見を徴収したり、その場での意見や提案も議題として検討している。</p>	<p>管理者は、カンファレンスやミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。個人面談を年2回実施している。出された意見や提案などで、声かけの工夫の提案を連絡ノートや申し送りノートで情報を共有しケアの改善に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人の上層部、管理者同士での話し合いの場を設け、就業環境の整備等についても検討し取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新規採用時にはオリエンテーションを実施したり、新人職員には力量に応じて日誌を書いてもらい目標を持って業務に励んでもらっている。また、外部研修にも積極的に参加して頂いている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームへの顔合わせを実施し、今後は相互訪問や職員交流に取り組んでいく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に情報収集を行い本人にあった入居の方法を考えている。家族とも連携を取り安心して過ごして頂けるよう信頼関係の構築に努めている。また本人の要望を必ずお聞きしプランに反映している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>計画作成担当者が入居前に訪問し、家族としての困りごとをお聞きしている。また入居する事で家族との交流が無くなってしまわないように注意して支援を行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族の状況を把握し事前に来て頂くなどの、必要な支援をしている。他のサービス事業所とも連携を図り入居が決まった時など行き来をして、情報をもろうようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に生活させて頂くという姿勢を大切にし、時には職員が利用者に頼ったり甘えたり、何かする時は相談するなどしている。喜怒哀楽を出せるようお互いが家族のような関係作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃から連絡を取り家族とのコミュニケーションが多くなるよう働きかけている。近況や良いエピソードなど伝え、今後のケアの方向性を相談したりと生活を共に考えるパートナーと考えて関係作りをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方の面会や、関係性が継続できるよう支援に努めている。散歩をしている際には近所の方も挨拶をして下さり、気軽に声を掛けて下さる。</p>	<p>家族や友人・知人の訪問の際にはお茶を飲んだりしている。県民交流センターの生け花展に出かけたり、手紙・電話の取次ぎなども行って、継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で外泊や外出・外食・墓参・理美容院利用なども支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う人や面倒見の良い人などが隣になるような席を配慮している。困っている人がいると職員を呼んで下さる人や、話したい人の所まで移動していたりと利用者同士の関りが多くある。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>病院に入院後も、ご家族と連絡を取り本人・ご家族の様子を確認している。また退所されたあとも、相談、連絡を気軽にきてもらえるよう話をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で本人の思いや意向を確認し、モニタリングの際には本人や家族からも希望を聞きプランに反映している。本人の言葉で確認が困難な場合は家族と話し合い、本人にとって必要な支援を検討している。	くつろいでいる時や居室・夜勤時など日々の関わりの中でコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、連絡ノート等で共有し、家族とも相談して、利用者の視点に立って本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に本人、家族から生活歴を確認しアセスメントシートに記載している。これまでの暮らしの情報は生活する上でヒントがあると考えており把握に努めている。また新たに得た情報は随時追加し、共有している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出勤時にはケース記録の確認や申し送りノートを活用して情報共有に努めている。毎日のバイタル測定で体調の把握にも務めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なモニタリングを行い本人・家族の意向をお聞きしている。その他にも課題や検討が必要な時にはカンファレンスを行い現状に即した支援が出来るようにしている。	本人や家族の意向を把握し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。2ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランの実施記録と共に日々の様子や変化など必ずケース記録に入力し、申し送りノートなどで共有している。本人の言葉や思いを記載しその後のプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お盆のお墓参りや仏壇参り、お葬式、冠婚葬祭等の希望に即した外出支援、ご家族との調整を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	様々な行事に参加することで、ホームでは見られない表情や姿を見る事ができている。ホームの行事の案内を地域の方にも参加を促している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には入居前からのかかりつけ医を継続している。受診時には情報提供表を記載し、職員も同席し医師に状況を説明して適切な医療を受けるようにしている。	受診は、本人や家族の希望で、協力医療機関が主治医となっている。協力医療機関からの2週間に1回の往診や歯科も必要時には往診対応である。他科受診は家族の協力を得て支援している。併設看護師との週1回の健康チェックも実施している。適切な医療を受けられるよう支援し、受診結果は家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設事業所に看護小規模多機能型居宅介護があり、利用者様の健康相談や体調不良時において看護師に相談が出来ている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には情報提供を行い本人・家族が安心して治療できるよう主治医や担当ナースとも話し合いを行っている。出来るだけ早期に退院ができるよう努め、家族と一緒に対応や注意事項などの説明を聞き関係作りを行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化、終末期に向けた看取りの指針を家族に説明している。現在重度化・看取りについての体制を整えており、希望される時は本人、家族、主治医、看護と連携を図り、納得のいく終末期が過ごせるように努めている。	入所時に「重度化や終末期に向けた看取りの指針」を説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を随時確認しながら医師を交えて話し合い、家族と方向性を共有できるよう医療関係者、職員とで取り組んでいる。看取りの方向であるが、事例はない。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	法人やホーム内で急変時や事故発生時の対応の訓練・研修を行っている。実践経験がない職員もおとり訓練・研修を継続し実践に備えた力を身に付けていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回災害訓練をおこなっており、地域の方とも協力して実施している。地域の方とも避難場所の共有を図り、夜間想定での避難訓練も計画している。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で年1回の昼夜想定での避難訓練を実施している。運営推進会議を兼ねて実施するなど、地域の協力体制もできている。地震や風水害・土砂災害の危険対策に、運営推進会議での助言を活かしている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、定期的に設備等の点検も行っている。水・米・インスタントラーメン・非常食の備蓄もある。頭を保護する為のクッションやカセットコンロなども用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのこれまで歩まれてきた人生を尊重した言葉使い、声掛け、接し方をおこなっている。また、研修やその時に指導するなど職員同士でも注意できる環境に努めている。	外部研修や定期的実施する法人研修に参加した職員が事業所のミーティング等で伝達し、職員の資質向上に取り組んでいる。入室や入浴介助・トイレ誘導などでは、羞恥心に対する配慮を行い誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	小さな事でも選択肢を設ける事で、目で見えて選び自己決定できるように、また希望が叶えられるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	テレビ番組や食事時間など本人の希望に応じて臨機応変に支援をおこなっている。また、外出先などの見たい場所、行きたい場所などを聴いて、希望に沿うように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日に着たい服を選んで頂いたり、鏡の前で身だしなみを整えていただいている。外出などに行かれる際には、一緒にコーディネートをしてオシャレを楽しんでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	委託している会社から、厨房での食事を利用者と一緒に準備している。一人一人にあった食事形態で提供させていただき、料理によっては利用者に確認しながら食事形態を変更をしており、準備も一緒に行っている。	委託会社からの配食で、個々に応じた食事形態に配慮している。月1回は、給食会議を開催し、利用者にアンケートを実施している。職員と一緒に味噌汁をよそおったり、準備や下膳・片づけなど行ったりもする。誕生日にはケーキと色紙でのお祝いや行事食など食事が楽しみになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態を把握し、普段と食事量や水分量の違いが把握できるように記録に残している。食事形態もその人が食べやすいよう、また見た目も楽しめるよう配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は口腔ケアを行い、また訪問診療歯科とも連携して口腔内の清潔に努めている。夕食後は義歯を外し洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、その方にあったパットを使用し、トイレへの声掛けを行っている。出来るだけトイレで排泄し気持ちよく過ごして頂けるように支援している。	排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。リハビリパンツにパット使用の利用者が多い。夜間にオムツの利用者もいる。トイレ付居室もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医や看護師等と相談し状態の改善に努めている。時には腹部のマッサージを行っている。排泄チェック表や、記録を用いて看護師と相談しながら個々に応じた支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在は入浴日を決め時間も指定しているが、本人の気分、体調に考慮し柔軟な対応を行っている。	入浴は週3回、午前中であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。排泄後の清潔保持にシャワー浴で対応している。浴室や脱衣所の温度管理をしている。トイレも隣接し、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には時間調整や声かけなど職員間で連携して入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々に違うので、習慣に合わせて休んで頂いている。ゆっくりテレビを観て過ごされる方もおり、気持ちよく休まれるよう寝具や気温に気を付けている。日中もお部屋や食堂のソファで自由に横になっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者毎に内服を管理し効能や副作用・用法等の薬情も管理し理解に努めている。薬も一つ一つ3重にチェックし、服薬時も飲み込み確認して飲み忘れがない様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の会話などからアセスメントし、プランに添いながら得意な事となるべくして頂けるよう支援している。色塗り、歌、裁縫、散歩など楽しめることを大事にしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>催し物など情報を提供し、希望に添って施設外の行事に出かけている。お盆などにはお墓参りや仏壇参りなど家族とも連絡を取り、行きたい所へ行けるよう支援している。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や県民交流センターの生け花展などに出かけている。年間計画を立て、初詣や花見・ドライブ・お菓子付きのお茶のみ・おはら祭の見物に出かけている。家族の協力で外出や外食、理美容院利用、墓参などにも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>当事業所では「預り金」はしておらず、必要時に家族に説明して頂いている。必要時には職員と一緒に買い物される方もおられる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>職員が代行して電話をかけお話をされたり、家族や知人から電話の取次ぎも自由にできる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節やその時期の行事によって花や飾り物を用意し季節感を味わえるように工夫している。浴室やトイレには分かりやすい表示をしており、窓から洗濯物が見えるなど生活感があり居心地の良い空間作りに努めている。</p>	<p>共用の空間は温度・湿度・換気・ノロウイルス対策などに配慮し清潔で明るい。窓から街並みが見える。テラスや中庭に出て外気浴も楽しめる。ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がしてある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>天気の良い日にはバルコニーなどにイスを置き、一人になられたり、気の合う方とおしゃべりを楽しんで頂いている。仲の良い関係を職員は把握しており話しやすい席なの配慮をしている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際には自宅で使用していた家具等を持って来られたり、生活に合わせてテレビや冷蔵庫を置いたり、写真や思い出の品を自由に飾るなど、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室はエアコン・ベッド・ダンス・椅子が備え付けである。状況に応じてトイレ付き居室もある。寝具やテレビ・ソファ・椅子・加湿器・ぬいぐるみ・遺影・家族の写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ安心して過ごせるよう配慮してある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人一人の力量に応じて安全に生活が送れるよう家具の配置などに配慮している。歯磨きセットや洗剤などの置き場も随時検討し、安全な環境づくりに心掛けている。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない